

各関係機関・団体の長 殿

山梨県立介護実習普及センター

所長 佐藤 浩一

(公印省略)

平成28年度 認知症キャラバン・メイト養成講座の開催について

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本センターでは認知症の人を地域で支えていくため、県民が地域や職場で認知症を正しく理解するための講座（認知症サポーター養成講座）の講師役となる認知症「キャラバン・メイト」の養成講座をつぎのとおり開催いたします。

つきましては、貴所属職員（保健師、事務職等）をはじめ、キャラバン・メイトとして認知症サポーター養成講座を開催していただける方々のご参加・ご推薦を頂きますようお願いいたします。

1 開催の趣旨

認知症の人を地域で支えていくためには、地域住民一人ひとりが、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を暖かく見守る応援者（「認知症サポーター」）になることが重要です。

国では、この認知症サポーターを全国で800万人養成することを目標に取り組みを進めています。

本県においても、県、市町村をはじめとする関係者の連携・協力により、講師役となるキャラバン・メイトを養成し、地域住民を対象とした学習会等で認知症サポーター養成講座を開催していくこととしています。

2 開催日時、場所

①平成28年9月1日（木）9：30～16：50

山梨県立産業展示交流館アイメッセ山梨・大会議室

山梨県甲府市大津町2192-8 Tel.055-243-1811

②平成28年10月6日（木）9：30～16：50

大月市民会館・講堂

山梨県大月市御太刀2丁目11-22 Tel.0554-22-4811

3 申込方法

別紙申込書にて、①甲府(9/1)→平成28年8月4日(木)、②大月(10/6)→平成28年9月4日(木)までに申込みをしてください。

・申込書①（総括表） 団体ごと1枚

・申込書②（個人票） 申込者全員分

4 その他

別添開催要項、注意事項等をご参照ください。

資料・登録など準備の都合上、期限を過ぎての申込みは受け付けることができません。

【お問い合わせ先】

社会福祉法人 山梨県社会福祉協議会

山梨県立介護実習普及センター（担当：上杉、丸山）

〒400-0005 甲府市北新1-2-12

Tel:055-254-8680 Fax:055-254-8690

E-mail:kaigo@y-fukushi.or.jp

平成28年度認知症キャラバン・メイト養成講座 開催要項

○目的 地域で暮らす認知症の人やその家族を応援する「認知症サポーター」を県内各地域で養成していくため、「認知症サポーター養成講座」の講師役「キャラバン・メイト」を養成する。

○日時・場所 会場の受付は、どちらも9:00からです。

日時	場所
①平成28年9月1日(木) 9:30~16:50	①山梨県立産業展示交流館アイメッセ山梨・大会議室 山梨県甲府市大津町2192-8 Tel.055-243-1811
②平成28年10月6日(木) 9:30~16:50	②大月市民会館・講堂 山梨県大月市御太刀2丁目11-22 Tel.0554-22-4811

○主催 山梨県立介護実習普及センター(山梨県社会福祉協議会)

○受講対象者

次の要件を満たす者で、年間10回(最低実施数3回)程度を目安(※)に、「認知症サポーター養成講座」を原則としてボランティアの立場で行える者

1. 認知症介護指導者養成研修修了者
2. 認知症介護実践リーダー研修(認知症介護実務者研修専門課程)修了者
3. 介護相談員
4. 認知症の人を対象とする家族の会
5. 上記に準ずると自治体等が認めた者
 - 5-1 行政職員(保健師、一般職等)
 - 5-2 地域包括支援センター職員
 - 5-3 介護従事者(ケアマネジャー、施設職員、在宅介護支援センター職員等)
 - 5-4 医療従事者(医師、看護師等)
 - 5-5 民生児童委員
 - 5-6 その他(ボランティア等)

※講座実施数は目安ですが、必ず講座を開催できる方を対象者とします。

○受講料 無料

○定員 100名程度

○研修内容・時間 別添プログラム参照

○キャラバン・メイト登録について

- ・キャラバン・メイト養成研修を受講した者は、県を通し、全国キャラバン・メイト連絡協議会にキャラバン・メイトとして登録します。
- ・登録者には修了証が交付されます。
- ・登録者の情報は認知症サポーター養成講座の実施を目的として、各市町村認知症施策担当部署に提供します。

平成28年度認知症キャラバン・メイト養成講座プログラム

①平成28年9月1日(木) 山梨県立産業展示交流館アイメッセ山梨・大会議室

②平成28年10月6日(木) 大月市民会館・講堂

研修時間:9:30~16:50 (受付:9時~)

時間	内容	目的	講師等	テキストの該当章
9:30~10:00 (30分)	I オリエンテーション 1 研修主催自治体のキャラバン事業の取り組みについて 2 キャンペーンDVD 3 認知症サポーターキャラバンとは 4 研修のねらい	①キャラバン、事業展開の趣旨を理解する。 ②自治体としての事業の位置づけの理解徹底。	事務局	序章
10:00~12:00 (120分)	II 認知症サポーターに伝えたいこと ○認知症を理解する 認知症とはどういうものか 認知症の症状 中核症状 行動・心理症状とその支援 認知症の診断・治療 認知症予防についての考え方 認知症の人と接するときの心がまえ 認知症介護をしている人の気持ちを理解する	①認知症サポーター養成講座でサポーターに伝える内容について学習する。 ②認知症とはどういう病気なのか、認知症の人や介護をしている人をどう支援したらよいのかを理解する。	(ながせき頭痛クリニック) 院長 永関慶重氏	第1章
12:00~13:00 (60分)	昼食休憩	-	-	-
13:00~13:30 (30分)	III 認知症サポーター養成講座の運営方法 1 認知症の人を地域で支える グループワーク① こんなとき、どこにつなげたらいいか考えてみよう ○地域ケアシステムで支える SOS便利帳をつくろう 地域包括支援センター、地域の社会資源をおさえる	①認知症の人を地域で支える視点。 ②認知症の人の助けになる地域の社会資源やネットワークをおさえる。	(甲府市北西地域包括支援センター)	第3章
13:30~13:45 (15分)	2 キャラバン・メイトの役割と講座運営の実際 ○各地のサポーター講座の様子	全国各地の講座の様態をスライドで紹介。 (住民、職域、学校)	(甲府市北西地域包括支援センター)	第2章 第4章
13:45~16:15 (150分)	○サポーター養成講座の企画・運営ポイント グループワーク② 講座の展開に協力してもらえそうな機関等はどこだろう …講座の開催先を考える グループワーク③ 受講者に合わせたカリキュラムをつくってみよう	①キャラバン・メイトの役割の理解とサポーター養成講座の対象者の検討。 ②サポーター養成講座を展開するうえで協力してもらい機関の洗い出し。 ③グループワーク②③の中で、認知症サポーターとしてできること(第2章該当)を押さえる。 ①サポーター養成講座の運営方法を確認する。 ②サポーター養成講座の企画や講座のポイントについて理解する。 ③サポーター養成講座受講対象者別カリキュラムの作成。	社会福祉士 望月 篤氏 主任介護支援専門員 佐藤 治美氏 社会福祉士 廣瀬 亜希子氏	
16:15~16:30 (15分)	質疑応答			
16:30~16:50 (20分)	IV 事務連絡 キャラバン・メイトの登録について アンケート回収 オレンジリング・修了証 授与		事務局	

※休憩時間を適宜はさむ

注意事項

①対象者について

- ・本講座は新規にキャラバン・メイトになる方を対象といたします。既にキャラバン・メイトになっている方はご参加いただけません。
- ・また、キャラバン・メイトとして、認知症サポーター養成講座を必ず開催していただける方を対象者とさせていただきますので、ご承知ください。

②定員について

- ・会場の都合上、定員を100名程度とさせていただきます。
- ・定員を超える場合は個別に人数調整をお願いする場合があります。
- ・人数調整をさせていただく場合は、申し込み締め切り後に推薦機関宛てご連絡いたしますので、大変恐れ入りますが、推薦機関から各申し込み者へご連絡をお願いいたします。

③研修修了条件について

- ・研修を修了し、キャラバン・メイトになるためには、一日（6時間）を通して受講していただくことが全国の規定になっています。途中の入退室はご遠慮ください。

④市町村への名簿提供について

- ・講座修了後、キャラバン・メイトとして実際にご活動いただくためには、市町村事務局の協力が必要になることがありますので、市町村への名簿の提供にご同意いただける方をご推薦ください。（同意ない場合は受講できません）

⑤その他連絡事項について

- ・研修テキストはご用意いたしますので、筆記用具をお持ちください。
（テキストの予備はありません）
- ・座席は事務局で指定させていただきます。席によっては講義のプロジェクトーが見づらい可能性がありますので、眼鏡等をご持参ください。
- ・締め切りを過ぎたお申し込みは、誠に申し訳ありませんが、一切受け付けることができませんのでご了承ください。